

管理医療機器 歯科セラミックス用着色材料

エステティック カララント[®]

医療機器認証番号: 305AFBZX00084000

テクニカルガイド



使用方法等の注意

- ① 本品は筆塗法にて使用可能です。市販の筆、若しくはリキッド用筆ペンを使用して塗布すること。ディッピング技法は推奨しておりません。
- ② 本品の各色調を混ぜて使用しないこと。但し、ジルコニア仮焼体に対して各色調を重ねて塗布することが可能です。

使用上の注意

1. 使用注意

- ① 本品の使用後は容器の口に付着した溶液を拭き取り、しっかりと蓋を閉めること。
- ② 本品は着色剤の1つとして労働安全衛生法（安衛法）特定化学物質障害予防規則（特化則）に該当する特定化学物質 第2類管理第2類（特別管理物質）：臭化ニッケル（II）三水和物を、以下の色調名の6製品に含有します。
A plus、B plus、C plus、D plus、BROWN、ORANGE
- ③ 本品の安全データシート（SDS）に基づき、特定化学物質への曝露を防止するため特化則の要求にしたがった措置（作業環境の管理、保護具の着用、健康診断、記録の保持等）を実施ください。
- ④ 特定化学物質を含有しない上記②以外の色調名の6製品については、刺激性があるため使用の際には人体への影響を避けるべく、本品のSDSに基づき、局所吸塵装置、或いは公的機関が認定した呼吸用保護具、保護メガネ、保護手袋、保護衣等を使用し、肌に直接触れないようにすること。

2. 重要な基本的注意

- ① 本品の使用により、発疹、皮膚炎等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診断を受けること。
- ② 本品を使用時には、目の損傷を防ぐため保護メガネ等の保護具を着用すること。万が一目に入った場合は、ただちに大量の流水で洗眼し、医師の診断を受けること。

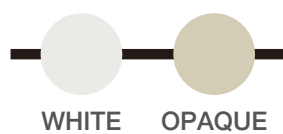
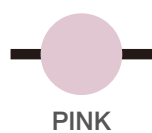
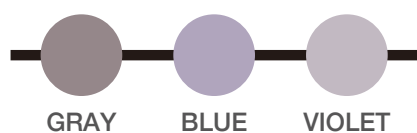
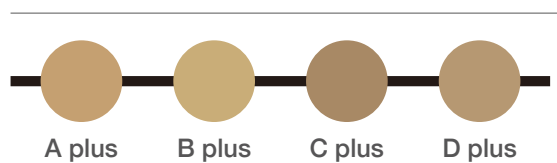
保管方法

- ① 本品は、高温多湿、直射日光を避け室温（10～30℃）にて保管すること。
- ② 本品を開封後は、必ず容器の蓋を閉め密封し保管すること。

使用期限

本品は包装に記載されている使用期限※までに使用すること。

※（例） 202608は、使用期限 2026年8月を示す。〔記載の使用期限は自己認証（当社データ）による。〕



上記の色調イメージは、1 mm厚の仮焼ジルコニアペレットに、各色を用いて着色、焼成した後の色度データが元となっており、各色が最も濃く発色した色調を示しています。実際に塗布法にて使用する際には、所望の色調に応じて塗布回数を調整してください。

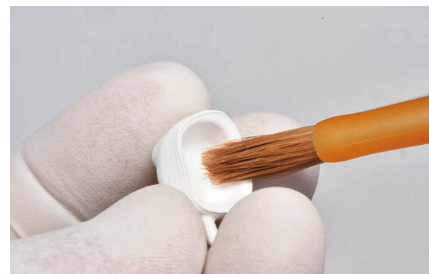
使用方法

本品は、歯科切削加工用セラミックス「ノリタケ カタナ® ジルコニア」にご使用ください。
本品を塗布した歯科切削加工用セラミックスを焼成する際は、各製品の電子添文等にしてください。

1 前処理

本品の使用前に、使用するジルコニア加工物表面に付着した汚れや油脂分等を清掃してください。超音波洗浄を行う場合は、洗浄後、80℃以上の乾燥炉にて1時間以上乾燥してください。

清掃後は、金属素材製品（例：ピンセットや金属部品を使用した筆など）との接触を避け、ジルコニア仮焼体に油脂が付着しないよう、手袋等を着用ください。



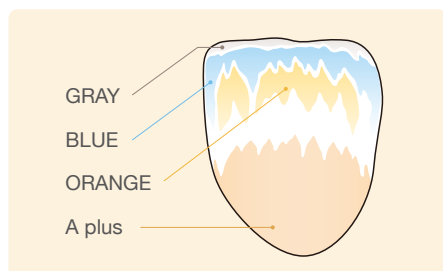
2 着色 ※同一箇所への塗布は最大3回を目安にしてください。過度に塗布すると焼成後の色調を適切に調整しづらくなるおそれがあります。

作業時に使用する色調を選択し、使用前にボトルをよく振ってからご使用ください。筆による塗布の場合、使用するリキッドをセラミックパレットまたは、プラスチックトレイに必要量採取し、ジルコニア仮焼体表面に塗布してください。なお、焼成前のジルコニア仮焼体に本品を塗布する際は、金属部品を使用していない筆を使用してください。同一箇所に複数回塗布することも可能です。重ね塗りを行うことで、焼成後により強い発色が得られます。

A plus（デンチン色相当）などは、3回の塗布でおおよそ1シェード程度（例：A2→A3）彩度を向上させることが可能です。

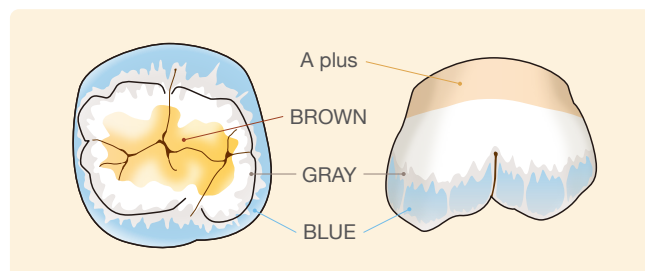
前 歯

- GRAY、BLUE（エナメル色相当）などを切端部に塗布します。
※マメロン構造の影を作るように塗布することがポイントです。
- 必要に応じて、内部構造を表現するためにORANGEなどをマメロン部へ縦方向に塗布します。
- A plus（デンチン色相当）などを歯頸部付近に塗布することで、彩度の調整が可能です。歯冠の彩度調整では歯頸部には濃く、切端に向けて移行的に薄くなるように横方向に塗布してください。



白 歯

- GRAY、BLUE（エナメル色相当）などを各咬頭部及び辺縁隆線付近をつなぐように塗布します。
※咬頭頂部から歯根に向かう豊隆の方向に従い、塗布することがポイントです。
- 必要に応じて、臼歯部咬合面の特に深い小窩裂溝部分を中心に、BROWNなどを用いて着色すると、咬合面に立体感を出すことができます。
- A plus（デンチン色相当）などを歯頸部付近に塗布することで、彩度の調整が可能です。歯冠の彩度調整では歯頸部には濃く、咬合面に向けて移行的に薄くなるように横方向に塗布してください。



※上記のイラストはあくまで一例です。ご使用の際には目標色調に合わせて適切な色調を選択してください。

3 乾燥

セラミクトレー等を用い、金属との接触を避けながら80 ～ 200℃で30分以上乾燥させてください。

4 焼成

着色したジルコニア加工物の電子添文等にしたいが焼成してください。

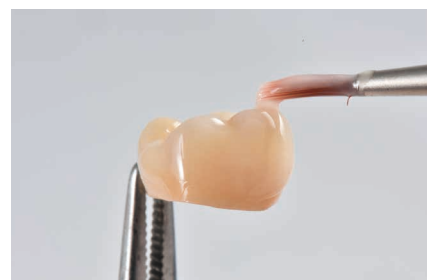
※色移りを避けるため、無着色ジルコニアと接する状態では焼成しないでください。

※金属との接触を避け、焼成してください。



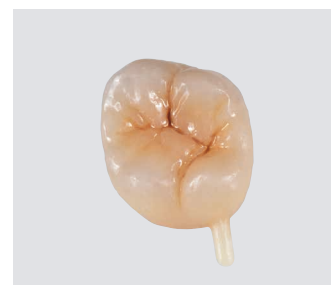
5 グレーズの塗布・焼成

「セラビアン®ZR」FCペーストステインのGlaze又はClear Glazeを所定の厚み(30 μm以上)で塗布し、電子添文等にしたいが焼成してください。焼成後、艶が不足している場合は追加塗布し、焼成してください。



6 仕上げ

焼成後、シリコンポイント等による微調整を行い、最終的に「パールサーフェス®」Zなどを使用し、仕上げ研磨を行います。



色調構成

色調	主用途
 A plus	Aシェード系のデンチン色をより濃く調整
 B plus	Bシェード系のデンチン色をより濃く調整
 C plus	Cシェード系のデンチン色をより濃く調整
 D plus	Dシェード系のデンチン色をより濃く調整
 BROWN	表面着色、小窩裂溝の暗いブラウン系着色を表現
 ORANGE	象牙質先端(マメロン部)の淡いオレンジ系着色を表現
 GRAY	先端部の淡いグレー系の透明感を表現
 BLUE	先端部の淡いブルー系の透明感を表現
 VIOLET	先端部の赤みを帯びたブルー系の透明感を表現
 PINK	歯肉部下地の淡いピンク系を表現 ※焼成後、成分由来の蛍光性が発現します。リキッド塗布、焼成した後は蛍光剤を含まない陶材(「セラビアン®ZR」ティッシュ)等で塗布部表面を完全に被覆してください。
 WHITE	明度の高い白色不透明感を表現
 OPAQUE	彩度のある淡い黄色系の不透明感を表現

上記の色調イメージは、1 mm厚の仮焼ジルコニアベレットに、各色を用いて着色、焼成した後の色度データが元となっており、各色が最も濃く発色した色調を示しています。実際に塗布法にて使用する際には、所望の色調に応じて塗布回数を調整してください。

Note

WHITEとOPAQUE

WHITEあるいはOPAQUEをクラウン内面に塗布することにより、支台歯色を遮蔽します。また、WHITEは、クラウンの明度を向上させることが可能です。WHITEは、一度の塗布で十分な発色が得られます。外側へ塗布する場合には、塗布回数にご注意ください。



クラウン内面へのOPAQUEの塗布

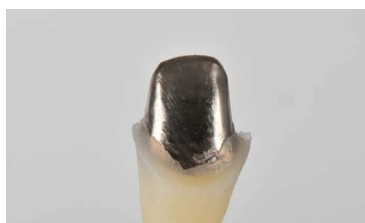


塗布後

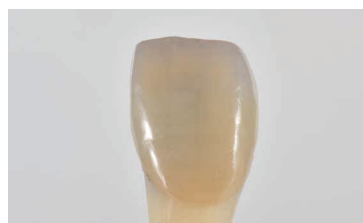


焼成後

OPAQUEの塗布による遮蔽効果



支台歯(メタルコア)



「ノリタケ カタナ® ジルコニア」YML A2で作製したクラウンを支台歯(メタルコア)に装着した状態。支台歯色の影響により、明度低下が確認できる。



「ノリタケ カタナ® ジルコニア」YML A2で作製したクラウンの内部にOPAQUEを塗布してから支台歯(メタルコア)に装着した状態。支台歯色が遮蔽され、クラウンの明度向上が確認できる。

関連製品

本品は、「ノリタケ カタナ® ジルコニア」用に設計された歯科セラミックス用着色材料です。

特に「ノリタケ カタナ® ジルコニア」のマルチレイヤーシリーズと併用することで、ジルコニアの強度を維持したまま、「ノリタケ カタナ® ジルコニア」マルチレイヤーシリーズが有するなめらかなグラデーションを活かした色調調整を行うことが可能です。

ノリタケ カタナ® ジルコニア

UTML



透光性※1 51%
曲げ強さ※2 557 MPa

STML



透光性※1 49%
曲げ強さ※2 748 MPa

HTML PLUS



透光性※1 45%
曲げ強さ※2 1150 MPa

YML



透光性※1 45-49%※3
曲げ強さ※2 750-1100 MPa※3

測定条件: 無着色ジルコニア(原材料)を使用

※1 全光線透過率、光源:D65、試験片厚み:1.0 mm

※2 ISO6872:2015準拠(3点曲げ試験)、試験片サイズ3×4×40 mm
クラレノリタケデンタル(株)測定:条件により数値は異なります。

※3 透光性、曲げ強さは層によって異なります。

「セラビアン® ZR」FCペーストステイン

「セラビアン® ZR」FCペーストステインは、ペーストタイプの表面ステインです。多彩な色調をラインナップしており、多彩な色調表現を実現します。



リキッド用筆ペン

「エスティックカララント®」をリキッド用筆ペンに充填して使用することで、ジルコニア仮焼体に塗布する「エスティックカララント®」の液量をコントロールでき、効率的な塗布作業をサポートします。



Q1

「エステティック カララント[®]」とは何ですか？

- A 「エステティック カララント[®]」は、焼成前のジルコニアへの着色や特徴付与ができる歯科セラミック用着色材料です。主に「ノリタケ カタナ[®] ジルコニア」のマルチレイヤータイプ (UTMLやSTMLなど製品名にMLの付くシリーズ) を対象に開発された製品で、これらのディスクの焼成温度で適切に発色されるように設計されています。ジルコニアに既に色調が付与されている前提で設計されているため、ベース用のシェードがなく、色調もあえて濃すぎないように設定されています。

Q2

「エステティック カララント[®]」はニケイ酸リチウムガラスにも塗布できますか。

- A いいえ、できません。「エステティック カララント[®]」は「ノリタケ カタナ[®] ジルコニア」専用の着色剤です。「ノリタケ カタナ[®] ジルコニア」のマルチレイヤータイプとの併用で高い審美性を発揮するように設計されていますが、単色ジルコニア (HT) にも使用可能です。

Q3

「エステティック カララント[®]」は、「ノリタケ カタナ[®] ジルコニア」の単色ジルコニア (HT) にも塗布できますか？

- A はい、できます。「ノリタケ カタナ[®] ジルコニア」の単色ジルコニア (HT) は陶材築盛との併用を前提に設計されています。「エステティック カララント[®]」での着色後の陶材築盛方法や目標色については、「セラビアン[®] ZR」などご使用になる陶材の電子添文等をご参照ください。

Q4

「エステティック カララント[®]」を塗布することでジルコニアの強度は低下しますか？

- A 「エステティック カララント[®]」は、ジルコニアの強度を低下させる成分の配合比率が少ないため、強度の低下を抑えることができます。

Q5

「エステティック カララント[®]」に蛍光性がありますか。

- A 基本的に蛍光性を有していません。PINKのみ成分由来の緑色蛍光を有しているため、歯肉部に使用する際は、「セラビアン[®] ZR」のティッシュ色等の蛍光剤を有さない陶材またはレジンにて着色部を覆ってください。歯冠部の着色の際は、「セラビアン[®] ZR」FCペーストステインのClear Glaze等の蛍光性を有する陶材を用いて仕上げることで、蛍光性を高めることができます。

Q6

「エステティック カララント[®]」を塗布した後の修復物の乾燥方法を具体的に教えてください。

- A 80～200℃に設定できる機器 (家庭用オーブン等) を用いて、30分以上乾燥させてください。変色の恐れがあるため、乾燥の際には金属製のトレイではなく、陶器又はセラミックス製のトレイをお使いください。

Q7

乾燥が不十分だと、どんな不具合が生じますか？

- A 乾燥不足の場合は、修復物の透光性が十分に得られない、割れや気泡等が発生する、ファーンエスの汚染、それによるジルコニア補綴物の変色に繋がる可能性があります。

Q8

80～200℃で30分以上の乾燥が必要とのことですが、それ以上の温度で乾燥するとどうなりますか？

- A 200℃を上回る高温のファーンエス等に湿潤状態のジルコニアを投入した場合、内部に含まれる水分の突沸によりクラックが発生する可能性があります。

Q9

「エステティック カララント®」塗布後に焼成したところ、修復物の色が黄色く変色してしまいました。何故ですか？

- A 焼成炉の内部が汚れている可能性があります。
お手持ちの焼成炉の電子添文等に従い、焼成炉の内部を清掃してください。

Q10

「エステティック カララント®」塗布後に焼成したのですが、修復物の透光性が通常より低い気がします。何故ですか？

- A 焼成炉の設定温度が低いか、「エステティック カララント®」塗布後に十分に乾燥されていなかった可能性があります。

Q11

90分の短時間焼成の場合と7時間の通常焼成の場合で、発色に違いはありますか？

- A 昇温速度の発色への影響はありません。ただし、焼成の際には、「ノリタケ カタナ® ジルコニア」の焼成スケジュールに従ってください。

Q12

焼成後に色がまだらで均一に着色されていないように見えます。何故ですか？

- A 着色時に手の油分が、リキッドの浸透を妨げたと考えられます。着色する際には、ゴム手袋等を着用し、専用のリキッド用筆ペンを使用することをお勧めします。表面に油分等が付着した際には、超音波洗浄でジルコニア表面の洗浄をしっかりと行い、80℃～200℃で30分以上の乾燥を行った後に作業をしてください。

Q13

「エステティック カララント®」で着色した「ノリタケ カタナ® ジルコニア」の仕上げ方法を教えてください。

- A 焼成後に研磨、若しくは「セラビアン®ZR」FCペーストステインのClear GlazeあるいはGlazeを塗布してください。
「セラビアン®ZR」FCペーストステインの詳細な使用方法については、製品の電子添文等をご参照ください。

Q14

「エステティック カララント®」は「ノリタケ カタナ® ジルコニア」以外の他社製のジルコニアにも塗布することはできますか。

- A いいえ、他社製ジルコニアへの塗布は推奨しておりません。ジルコニアの焼成温度は製品の製造元によって異なるため、設定温度によっては「エステティック カララント®」の色が意図しない形で現れる場合があります。

Q15

「エステティック カララント®」を塗布して焼成した修復物の上に「セラビアン®ZR」などの陶材を築盛し、再度焼成することはできますか？

- A はい、できます。より複雑な特徴を表現するために、「セラビアン® ZR」等の陶材をご使用ください。詳細な使用方法については、製品の電子添文等をご参照ください。

Q16

白いジルコニアを着色する際、A plusやB plus等のシェード色をディッピング技法で使用して良いですか？

- A いいえ、ディッピング技法は推奨しておりません。「エステティック カララント®」は筆塗法にて使用可能です。市販の筆、若しくはリキッド用筆ペンを使用して塗布してください。

Q17

「エステティック カララント®」の各シェードを混ぜて使用して良いですか？

- A いいえ、各シェードを混ぜて使用することはできません。ただし、ジルコニア仮焼体に対して各シェードを重ねて塗布することは可能です。

Q18

「エステティック カララント®」を使用する際の注意事項を教えてください。

- A 使用前に塗布するジルコニア加工物表面に付着した汚れや油脂分等を洗浄してください。ジルコニア加工物表面に汚れが残ったまま焼成してしまうと、発色がきちんとされない場合があります。また、洗浄後は金属素材製品（例：金属製ピンセット）との接触を避けてください。

Q19

「エステティック カララント[®]」塗布にはどんな筆を使用すれば良いですか？

A リキッド用筆ペンか、金属を使用していない筆をご使用ください。

Q20

リキッド用筆ペンを使用する際、「エステティック カララント[®]」をその時使用する量だけ少量充填しても良いですか？

A リキッド用筆ペンは、性能低下防止のために再利用をお勧めしておりません。ペンの設計上、一度セットしたアジャスター部分を外したりセットし直したりすると、性能に支障をきたす恐れがあります。少量のみ使用する色については、リキッド用筆ペンではなく、金属を使用していない市販の筆を使用することをお勧めします。

Q21

「エステティック カララント[®]」の塗布に使用した筆の洗浄はどのように行いますか？

A 使用した筆は精製水にて洗浄してください。洗浄後、複数回吸水性の高い紙上で試し書きを実施し、紙に色が付かないことを確認してください。リキッド用筆ペンは、性能低下防止のために再利用をお勧めしておりません。充填したリキッドを使いきった際は、新しい筆ペンをご使用ください。

Q22

複数の色を重ね塗りしたら、リキッド用筆ペンが汚れてしまいました。

A リキッド用筆ペンが汚れた場合、筆先を精製水で洗浄してください。洗浄後、複数回吸水性の高い紙上で試し書きを実施し、筆先にリキッドが補充され、擦れや汚れが無く、均一に発色することを確認してください。性能低下に繋がりますので、筆ペンを解体して洗浄することはお控えください。

Q23

「エステティック カララント[®]」は最大何回重ね塗りできますか？

A リキッド用筆ペンを用いた場合、液量が適切にコントロールされるため、3回程度の重ね塗りでシェードを1つ（例：A2からA3）向上できます。筆塗手法によって重ね塗りの回数は変化しますが、過度な塗布を行うと焼成後の色調コントロールが困難になるため、3回程度の重ね塗りを基準に色調を調整することをお勧めします。大きな色調変化が必要な場合は、焼成後に「セラビアン[®]ZR」FCペーストステイン等を使用して色調の調整をしてください。

Q24

他社製の歯科セラミックス用着色材料と併用できますか？

A 併用による予見できない悪影響が懸念されるため、他社製品との併用はできません。

- ノリタケ カタナ® シルコニア 管理医療機器 歯科切削加工用セラミックス 医療機器認証番号：223AFBZX00185000
- パールサーフェス® 一般医療機器 歯科用研磨器材 医療機器届出番号：15B1X10001090009
- セラビアン® ZR 管理医療機器 歯科用陶材 医療機器認証番号：223AFBZX00161000

●データは全てクラレノリタケデンタル株式会社測定です。条件などにより数値は異なります。 ●印刷のため実際の色調と異なる場合があります。
●ご使用に際しましては電子添文等を必ずお読みください。 ●仕様及び外観は、製品改良のため予告なく変更することがありますので予めご了承ください。

クラレノリタケデンタル株式会社

お問い合わせ

☎ 0120-330-922 平日 10:00~17:00

〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目6-4 常盤橋タワー

【製造販売元】クラレノリタケデンタル株式会社
〒959-2653 新潟県胎内市倉敷町2-28

【販売元】株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
お客様相談センター：0800-222-8020（医療従事者様向窓口）

クラレノリタケデンタル
LINE公式アカウント

友だち追加はこちらから



最新情報
配信中!

「カタナ」及び「セラビアン」はノリタケ株式会社の登録商標です。
「エステティック カラント」及び「パールサーフェス」は株式会社クラレの登録商標です。